
平成30年 7月豪雨災害における 岡山県災害救護活動経過

長浜赤十字病院



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

災害の状況

(7月22日 5:45消防庁発表資料から)

6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響により、西日本を中心に全国的に広い範囲で発生した豪雨については、「平成30年7月豪雨」と命名(7月9日)

- 気温のかなり高い状態が長く続き、猛暑日が続く
- 災害救助法の適用

- 人的被害

死者 : 219名

行方不明 : 10名

重傷者 : 58名

軽症者 : 303名

赤十字災害救護速報(本社:7月19日付)

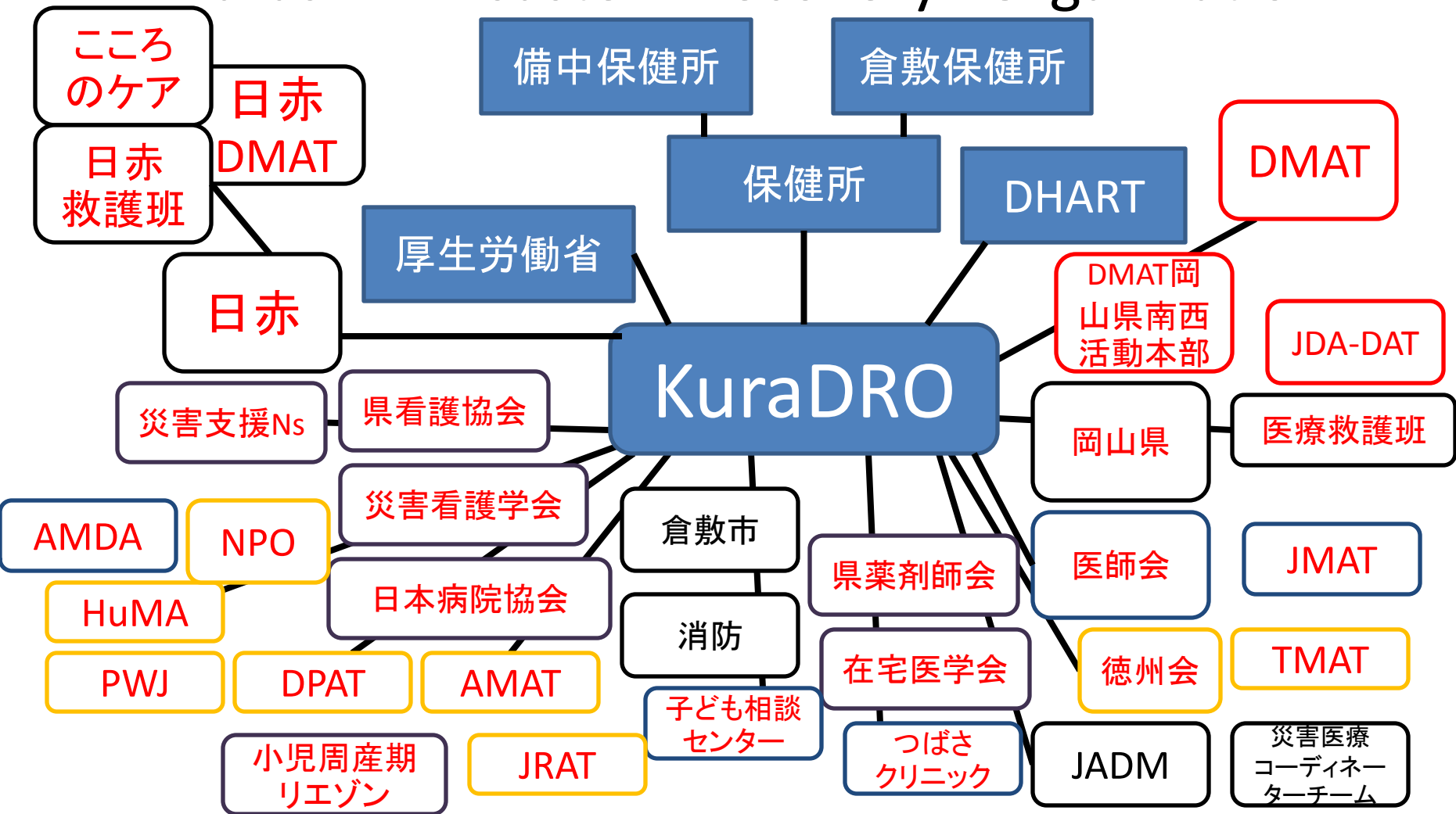


災害医療コーディネーターチームを 岡山県倉敷市に派遣(7月15日(日)7:30)



倉敷地域災害保健復興連絡会議

Kurasiki Disaster Recovery Organization



倉敷保健所災害対策本部活動(KuroDRO)



災害対策本部内には、国（厚労省）・県や市の担当が入り、医療関係者との連携を取りながら、タイムスケジュールや医療ニーズに応じた対応を行っております。



7月17日(火)倉敷保健所災害対策本部活動





菌小学校のトレーラハウス救護所



段ボールベッドの導入



救護班等の配置

滋賀県支部第2救護班（長門班）派遣

- 活動期間 7月24日~7月27日





下原公会堂診療所に移動



和歌山日赤より引継ぎ



被災地域の巡回訪問

